

緑の風

JR東労組
NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年4月30日 No.144

5月1日は「メーデー」 8時間労働の歴史を考えよう!



第94回メーデー中央大会(4月29日)には
約28,500名の労働者が結集しました

◆メーデーとは?

12～14時間の長時間労働が当たり前だった1886年のアメリカにおいて、「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自分の自由な時間のために」を求めて5月1日に労働者が立ち上がったことを起源に、世界的に労働条件改善を求めるようになった取り組みです。

激しい弾圧の中、流血しながらのたたかひの末、現在の「8時間労働」が確立されたのです。

◆長時間労働の改善は、まず「超勤を正しくつけること」

組合員の減少によって、36協定の締結権者が労働組合ではなく過半数代表となった職場が増え、団体交渉で総労働時間短縮の議論を行っていない職場が増えています。そのような中、組織再編などの施策に伴って業務量が増え、慢性的な長時間労働になっているとの声もあります。

長時間労働を改善し、本来の8時間労働で健康に働ける職場を目指すために、まずは「超勤を正しくつける」風土を創りましょう!



JR東労組としてチェック機能を発揮し 心身ともに健康に働ける職場をめざそう!